

第4学年「算数」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

成果 ○ 基礎的な計算問題など反復学習した問題の正答率が高い。

課題 ▼ 文章を正しく読み取れず不正解になることが多い。

▼ 3桁×3桁の掛け算など手順が多くなる演算が苦手な児童が多い、

指導の重点（身に付けさせたい力）

◇ 文章問題を自分で読み解く力。

◇ わり算のひっ算や桁の多いかけ算などの手順が多い演算の習熟。

具体的な改善策

○ 毎回の授業で学習問題の読み取りを行い、問題内容の読み取りを行う。

○ 補習の時間や問題演習の時間に、わり算やかけ算のひっ算の解き方を毎回全体で確認する。

達成目標

□ 小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、折れ線グラフなどについて理解し、整数、小数及び分数の計算、図形を構成、図形の面積や角の大きさ、表やグラフに表することなどの技能を身に付ける。

□ 目的に合った表現方法を用いて計算のを考察する力、図形の性質や図形の計量について考察する力、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、表やグラフに的確に用いて問題解決したり、解決の過程や結果を捉え考察したりする力を養う。

□ 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。